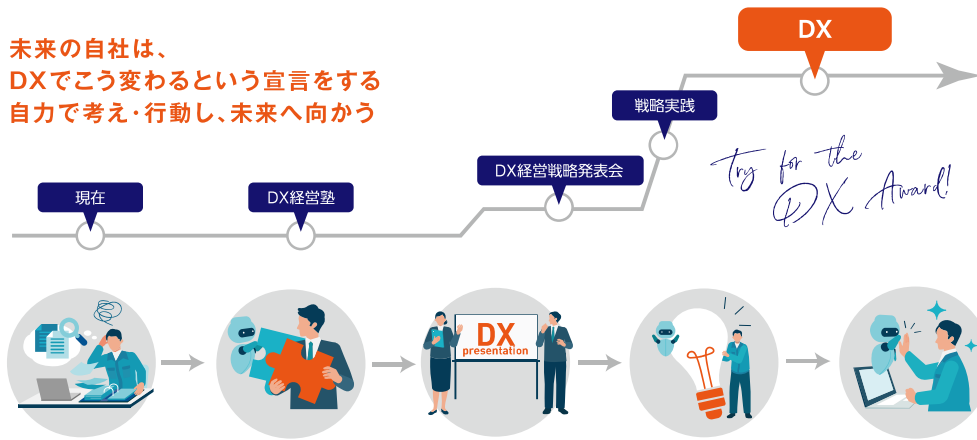


DX推進中期プログラム(DX経営塾)が目指すもの

DX経営塾は、単なるITツール導入やAI活用の解説にとどまらず、企業の経営そのものを再設計する実践型プログラムです。本質(Why)・構造(How)・現象(What)の3つの領域から自社を見直し、変化の激しいAI時代においても持続的に成長できる「経営のOS」をアップデートします。講義とハンズオン・ワークを通じて、業務プロセスの分解、データ設計、AI活用、組織再構築までを一気通貫で実践し、最終的には自社のDX経営計画としてアウトプットします。変化に適応するのではなく、変化を前提に設計し続ける。そのための経営塾です。

※このDX経営塾は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受けて実施するものです。

未来の自社は、DXでこう変わるという宣言をする
自力で考え・行動し、未来へ向かう



STEP4

デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態
例:システム上で蓄積したデータを活用して販路拡大、新商品開発を実践している

目的

DX経営計画発表会

「未来の自社はDXでこう変わる」と宣言する
自力で考え、行動し、未来へ向かう

STEP3

デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態
例:売上・顧客情報や在庫情報などをシステムで管理しながら、業務フローの見直しを行っている

STEP2

アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態
例:電子メールの利用や会計業務における電子処理など、業務でデジタルツールを利用している

STEP1

紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態

出典元:中小企業庁2022年版「中小企業白書」第2節中小企業におけるデジタル化とデータ活用デジタル化の取組段階

プログラム・講師紹介

section 1 1講・2講 意識マインドセット領域

DXの本質を理解していただくとともに、単なるデジタル化にとどまらず、企業や組織の在り方そのものを見直す「変革(X)」こそが最も重要であるという認識へと転換していただくことを目的とします。あわせて、その変革を自社の課題と結びつけ、具体的な取り組みへとつなげていく視点を養います。

section 2 3講～5講 テクニカル領域

最新AIサービスの体験(Gemini Gem作成)をはじめ、ノーコードによるアプリ開発、構造化データとAIの活用、さらにAI時代に求められるサイバー攻撃対策まで、実務に役立つ内容を体系的に学びます。基礎から応用までをバランスよく理解し、現場で活かせるスキルの習得を目指します。



section 3 6講・7講 組織再変革領域

組織と業務の俯瞰的な体験を通して、自社での全体把握から改善点を考えることで、DXへ進む際に必ず立ちはだかる反対勢力・抵抗勢力が生まれるプロセスを説明します。

section 4 8講 データドリブン経営

データドリブン経営(※)の必要性を理解するとともに、業務や意思決定に必要な情報をどのようにデータ化していくか、その具体的なプロセスについて学びます。あわせて、KGI・KPIの設定や算出方法を習得し、目標と指標を適切に連動させる考え方を身につけます。さらに、これらの定量的なデータをもとに現状を可視化し、課題を把握しううえで、根拠に基づいた経営判断へとつなげていく一連のプロセスを理解し、説明できる力を養います。

※経験や動に頼らず、BIツール(Business Intelligenceツール)やNotionなどのデータを基に意思決定を行う経営手法

section 5 9講・10講 DX経営計画発表会

これまで学んできたことを踏まえ、自社のDX戦略を考え発表していただけます。自ら学習したことをアウトプットする場として活用し、自社で社内プレゼンにも展開することで本気の事業計画案としてDXに進んでいただき、併せて受講者同士での学びの場とします。

統括講師の紹介

和歌山市出身。大手事務機器・光学機器メーカーにて海外サプライヤーとの部材調達・契約締結業務などを行う。折衝業務を中心に香港での駐在経験等を経て帰国し、大手半導体メーカーで勤務しながらMBAを取得。2014年に地元和歌山の建設会社にUターン。同社の情報システム部門を一から立ち上げ、2021年「全国中小企業クラウド実践大賞」で総務大臣賞を受賞。

その後、モノデジタル株式会社を設立し、全国の中小企業を対象にDX推進支援を展開。現在は一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会(JDX)和歌山県支部支部長およびJDXアンバサダー、和歌山大学社会インフォマティクス学環の非常勤講師を務める。DX関連の講演・セミナー講師として全国の支援機関や金融機関等で多数登壇、2023年には「全国クラウド実践大賞 支援部門」にてエバンジェリスト賞を受賞。



モノデジタル株式会社
代表取締役
和田 正典氏

講師の紹介



1講
株式会社
ミジノコ
代表取締役
友村 晋氏



5講
株式会社チェンジ
ホールディングス
執行役員
大越 いつみ氏



6講
大鎌電気
株式会社
金曾 恋粹氏



7講
ウォーターデジタル
合同会社
代表
原田 篤史氏



8講
タククラフト
株式会社
代表取締役
原田 満氏
(前職:精工舎)DX(経営塾)専任

※その他ゲスト講師が加わる可能性があります。

DXはあくまで「手段」だ

留意点

- 原則、10回すべての講座に参加してください。
- 従業員だけの参加は原則不可です。ただし、あらかじめ経営幹部の了承を得たうえで、少なくとも5回以上の講座において経営幹部が従業員と同席する場合に限り参加することを可能とします。

日時・講義概要

☑ DXを手段に経営全体を徹底的に見つめ直す!

1講	2026.7.2(木)	【これからのDXとは】	※講座終了後、懇親会あり
2講	2026.7.16(木)	【AIと共存していく私たち】	
3講	2026.8.6(木)	【AI・クラウドサービス選定】	
4講	2026.8.20(木)	【ノーコード+構造化 ハンズオン】	
5講	2026.9.3(木)	【AI時代のセキュリティ】	
6講	2026.9.17(木)	【TOCワークショップ】	
7講	2026.10.1(木)	【組織再構築論】	
8講	2026.10.29(木)	【データドリブン経営】	
9講	2026.11.19(木)	【DX経営計画発表会①】	
10講	2026.12.3(木)	【DX経営計画発表会②】	※講座終了後、懇親会あり

※時間はいずれも13:30~16:30

会 場	姫路商工会議所 本館7階 702ホール
お 持 ち 物	インターネットに接続可能なパソコン(事前に十分に充電された状態でお持ちください) ※会場にWi-Fi環境はございますが、通信環境は保証できません。 モバイルWi-Fiやスマートフォンのテザリング機能のご利用を推奨いたします。
受 講 料	1人15,000円(税込・懇親会費含む)
対 象	姫路市内の中小・小規模事業者の経営者及び管理職・従業員
定 員	25名(1社2名まで)
申 込 方 法	下記記入欄に各情報を記入後、FAXにてお送りいただくかホームページにてお申込みください。 ※受講が確定した方には後日、受講証・請求書をメールで送付いたします。
共 催	姫路市・姫路商工会議所



受講申込書 DX推進中期プログラム(DX経営塾) 姫路商工会議所 中小企業相談所 企業支援担当 行			
事業所名			
所在地	〒	TEL	
		FAX	
E-mail			
(ふりがな) 参加者名	①	②	
	(役職:)	(役職:)	

※ご記入いただいた情報は、当所からの各種連絡、情報提供、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用するほか、講師に提供することがあります。
※記入の内容は、当事業の参加者把握に利用するほか、事務連絡や関連事業の情報提供のために使用することはありますが、第三者に公開するものではありません。

お問い合わせ先

姫路商工会議所 中小企業相談所 企業支援担当 TEL:(079)223-6557 FAX:(079)222-6005
Email:kenshu@himeji-cci.or.jp HP:https://www.himeji-cci.or.jp

姫路商工会議所 検索

Team-Himeji

DX

経営塾

2026

デジタルを起点に
経営全体を見つめ直し
「自社をこう変えたい」を
講師・参加者全員で考える経営塾

<共催>



姫路市・



姫路商工会議所

THE HIMEJI CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY